

artistic construction

建築のチカラ
土木のチカラ

感動を伝えるアートです！



nd
NUMATA DOKEN
沼田土建

《 目 次 》

1.	環境方針	1
2.	組織の概要	2
3.	推進体制	3
4.	環境目標とその実績	4
5.	環境活動計画の取組みと評価	5
6.	環境関連法規則の遵守	6
7.	環境活動計画の取組みと評価	6
8.	デジタル化への取組	7
9.	国土交通大臣より「無人航空機の飛行に係る許可」更新	8
	新型コロナウイルス対策(リモート会議)	8
	日産「リーフ」(電気自動車)の導入	8
	労働安全コンサルタントとの合同安全パトロール	9
	「つなぐ棚田遺産」田植え・稲刈り体験	10

1. 環境方針

環 境 方 針

〔 基 本 理 念 〕

当社は、建設業社として限りある地球の資源及び大切な環境を守ることが、重要な課題と認識し、i-Constructionの積極的な導入をはじめ生産性の高い事業活動により、継続可能な環境負荷の低減に取り組みます。

〔 基 本 方 針 〕

1. 事業において技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、以下のことに取り組みます。

- ①ICT機器を活用した施工数の増加
- ②二酸化炭素排出量削減
- ③廃棄物は、発生を抑制するとともに分別を行い、再利用の向上
- ④コピー用紙の削減

2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境管理に関する情報は、環境活動リポートとして公表します。

改訂 平成 23 年 9 月 22 日
改訂 令和 元年 8 月 27 日
改訂 令和 5 年 8 月 10 日

沼田土建 株式会社

取締役社長 青 柳 剛



2. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

沼田土建株式会社

取締役社長 青柳 剛

2. 所在地

本 社	群馬県沼田市西倉内町593番地
東 京 支 店	東京都品川区東大井五丁目23番9号 第三港南マンション1階102号室
前 橋 営 業 所	群馬県前橋市六供町三丁目55-6
パナソニックホームズ 提携代理店	群馬県沼田市西倉内町509番地の3
第一資材センター	群馬県沼田市高橋場町2098番地の2
第二資材センター	群馬県沼田市善桂寺町110番地の9

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代 表 責 任 者	取 締 役 社 長	青 柳 剛
環 境 管 理 責 任 者	取 締 役 副 社 長	武 田 寛
担 当 者	環 境 事 務 局	畑 武 志
連 絡 先	T E L	0 2 7 8 - 2 2 - 5 1 7 5
	F A X	0 2 7 8 - 2 2 - 5 1 7 7

4. 対象範囲

沼田土建株式会社 全組織

5. レポートの対象期間

第76期(2023年6月～2024年5月)の1年間の活動

6. 事業の内容

総合建設業

7. 事業規模

活 動 規 模	単 位	2021年度(74期)	2022年度(75期)	2023年度(76期)
完成工事高	千円	5,530,387	5,591,495	6,218,744
従業員数	人	97	96	96
本社延べ床面積	m2	514.94	514.94	514.94

8. 建設業の許可

国土交通大臣許可

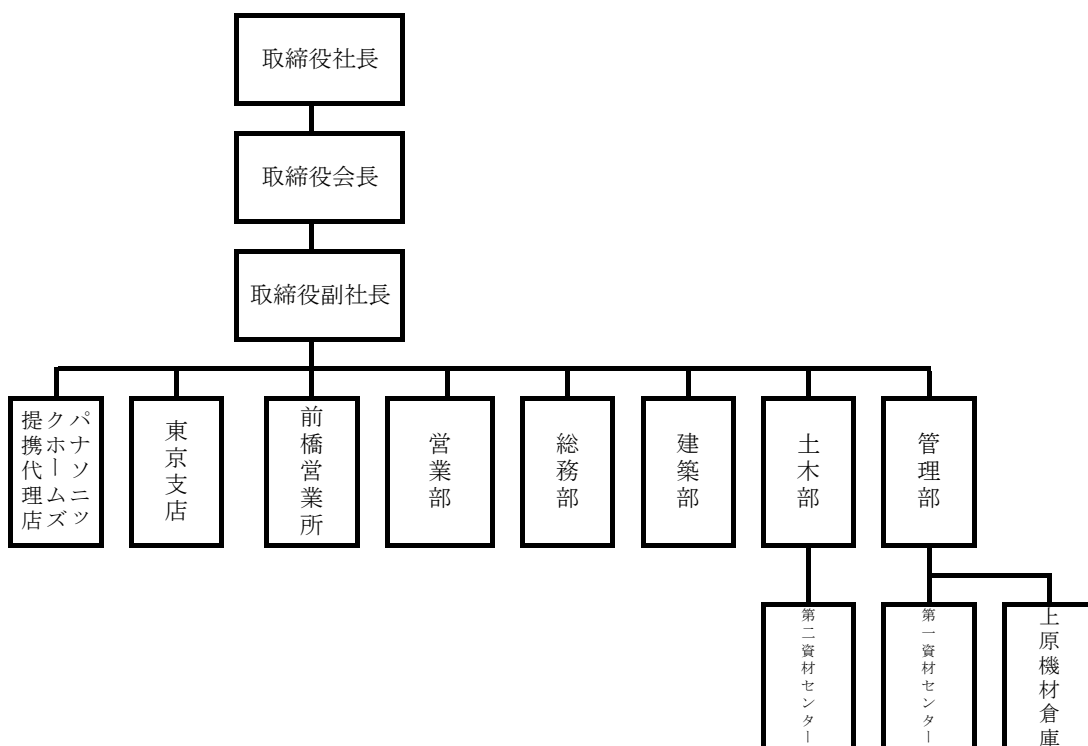
許可番号	特－4 第016087号
許可の有効期限	令和 5年 3月 7日 から 令和10年 3月 6日 まで
特定建設業許可	土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業 石工事業、屋根工事業、管工事業、タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業 防水工事業、内装仕上工事業、水道施設工事業
一般建設業許可	さく井工事業

9. 産業廃棄物収集運搬の許可

群馬県知事許可

事業の区分	収集、運搬(但し、自社施工現場から排出される産業廃棄物の収集運搬のみ)
許可の有効期限	令和 3年 8月 9日 から 令和 8年 8月 8日 まで
産業廃棄物の種類	①汚泥、②廃プラスチック、③紙くず、④木くず、⑤繊維くず ⑥ゴムくず、⑦金属くず、⑧ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑨がれき類(以上9種類)

3. 推進体制



4. 環境目標とその実績

当社に於ける76期(2023年6月1日～2024年5月31日)の環境負荷実績を把握し、76期～78期迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	基準値	今年度実績 2023年度		2024年度	2025年度	2025年度	環境活動計画 実施事項
	75期	76期		77期	78期	79期	
	実績	目標	実績	目標	目標	目標	
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2/百万円)	61.6	75期実績に対して4%削減	○ 51.9 減16%	76期実績に対して1%削減	77期実績に対して2%削減	78期実績に対して3%削減	①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(kg/百万円)	977	75期実績に対して4%削減	× 1,897 増94%	76期実績に対して1%削減	77期実績に対して2%削減	78期実績に対して3%削減	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底
③従業員一人当たりの水資源投入量の削減(m³)	6.0	75期実績に対して4%削減	× 6.8 増13%	76期実績に対して1%削減	77期実績に対して2%削減	78期実績に対して3%削減	①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	現状の把握	—	管理の徹底	管理の徹底	管理の徹底	①取扱商品の把握 ②購入量の把握 ③取扱商品一覧表の作成
⑤本業に関する目標	—	現状の把握	○	リサイクル品の推奨	リサイクル品の推奨	リサイクル品の推奨	①舗装関係のリサイクル品の把握 ②碎石のリサイクル品の把握 ③環境配慮型の材料の提案
⑥ICT機器を活用した施工数の拡大	8箇所	75期実績に対して2箇所増加の10箇所	○ 12箇所 増4箇所	76期実績に対して2箇所増加の14箇所	77期実績に対して2箇所増加	78期実績に対して2箇所増加	3Dスキャナーを活用した工期の短縮

*CO2総排出量は322,815.14kg-CO2でした。

*76期の実績は、2023年6月1日～2024年5月31日の1年間のデータです。

*二酸化炭素の排出係数は0.457kg-CO2です。

*工事の工種・工法等により使用量の著しい増減があります。

5. 環境活動計画の取組みと評価

*76期（2023年6月～2024年5月）の12ヶ月の活動の取組みと評価をしております。

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 『目標』 75期に対し、4%削減 目標の達成状況： 16% 減少 ○	76期では河川工事の受注減少に伴い、大型ポンプの稼働が減り、また工事量が10%増加したため分母が大きくなったことにより、16%の減少となりました。 次年次への取組内容 年間を通じて意識の向上を図る。
2. 廃棄物排出量の削減 『目標』 75期に対し、4%削減 目標の達成状況：94% 増加 ×	76期に施工した川浦工事の施工ヤードの伐採や昭和村役場の解体工事により「木くず」や「コンクリート等」の廃棄物排出量は大幅な増加となりました。 次年次への取組内容 用紙等のリサイクルへの意識改革を推進していく。
3. 水資源投入量の削減 『目標』 75期に対し、4%削減 目標の達成状況：13% 増加 ×	日々、職員一同で節水に努めていますが、結果として13%の増加となりました。 また、漏水のチェックは随時行っています。 次年次への取組内容 年間を通じて節水の努力をする。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 『目標』 取扱量の把握 目標の達成状況： —	化学物質の取り扱いはありません 次年次への取組内容 取扱量の把握に努める。
5. 本業に関する目標 『目標』 建設発生材の抑制 目標の達成状況： ◎	舗装関係・碎石のリサイクル品の各工事現場での使用数量をまとめた。 次年次への取組内容 設計の範囲内でリサイクル品の使用の推奨をする。
6. ICT機器を活用した施工数の拡大 『目標』 ICT機器の活用 75期に対し、4箇所増加 目標の達成状況：12箇所で4箇所の増加 ○	76期も積極的にICT機器を活用し現場数は4箇所増加しました。測量回数は39回で75期の28回より大幅に増加し、円滑な施工に役立っています。また、ドローンによる空撮も随時行っています。 次年次への取組内容 3Dスキャナーを活用した工期の短縮

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況	遵守事項
廃棄物処理法	遵法	マニフェスト伝票
建設リサイクル法	遵法	完了報告書
浄化槽法	遵法	浄化槽清掃実施報告書
自動車NO _x ・PM法	遵法	自動車検査証
建設業に係る特定地域における自動車排出窒素酸化物の排出の抑制を図るための指針	遵法	自動車NO _x ・PM法ステッカー
オフロード法	遵法	適合証明
フロン排出抑制法	遵法	受託確認書・引取証明書
建築基準法	遵法	建築基準法
水質汚濁防止法	遵法	水質汚濁防止法
消防法	遵法	消防法
建設工事公衆災害防止対策要綱（建築・土木）	遵法	建設工事公衆災害防止対策要綱

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年11月6日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 環境活動計画の取組みと評価

代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21を取り組んで、環境改善への意識が高まっています。76期は建築工事においては高速道路関連施設の「東北自動車道 佐野SA(下り線)商業施設新築工事」や「東北自動車道 矢板北PAトイレ増築工事」が完成し、77期は前年からの繰越工事の「常磐自動車道 谷田部東PAトイレ改築工事」や新規に受注した「東北自動車道 佐野SA(下り線)商業施設及びトイレ新築工事」が、土木工事では「国土交通省発注」の工事8件が進められています。改めて、インフラ整備の担い手としてよろしくお願いいたします。

工事の施工にあたっては国土交通省発注工事をはじめとして、3Dスキャナーや測量用ドローンなどのICT機器を活用し工期の短縮を目指してください。

そして、業務のデジタル化へ積極的に取り組み「業務効率の向上」「データ共有の簡略化」「手続きの簡素化」へ向け対応をお願いいたします。

また、ガソリン価格は落ち着いていますが尚一層、自動車の運転においてはエコドライブの徹底、不要なアイドリングを控え、環境の負荷の軽減を図るとともに職員や作業員に安全運転に徹底するように努力してください。

新型コロナウイルスの影響で定着してきましたリモート会議ですが週1回の朝礼や月1回の安全衛生協議会は引き続き原則リモートで行ってまいりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。（安全衛生協議会は1、3、7、10月は大きな会場で開催）

また、法令遵守に向けて一層の取組の充実を図ってください。

8. デジタル化への取組(2024年5月31日現在)

2023年度

アルファオフィス・・・・・・・・・・グループウェア

F i l e F o r c e・・・・・・・・・・クラウドステージ

ドロップボックス・・・・・・・・・・クラウドステージ

W e b e x・・・・・・・・・・Web会議ツール

D i g i t a l B i l l d e r・・・・・・・・インボイス制度・電子帳簿保存法対応

奉行クラウド・・・・・・・・・・業務クラウド

リバスタ・・・・・・・・・・電子マニフェスト

建設キャリアアップシステム・・・・・・・・技能者管理システム

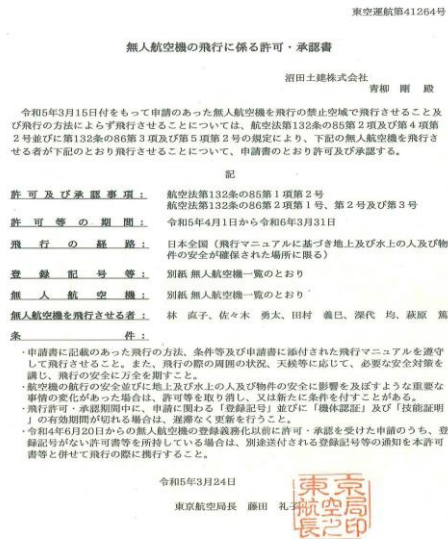
2024年度

勤CON管・・・・・・・・・・建設工事業向け勤怠クラウドサービス

アルキラー・・・・・・・・・・アルコールチェック

9. その他

無人航空機 Phantom 4 (DJI 社)を導入し、無人航空機操縦技能及び無人航空機安全運航管理(一般社団法人 日本UAS産業振興協議会)の資格を5名が取得。それに伴い、東京航空局長より「無人航空機の飛行に係る許可」が承認され、(平成29年4月1日より)現場でも大活躍しております。



新型コロナウイルス感染予防に伴い、その対策として令和2年4月より毎週月曜日に開催している早朝月曜会議と第1週末に開催している安全衛生協議会を本社会議室と各現場事務所間でリモート会議にて開催することとなり、現在に至っています。



平成31年4月に電気自動車の日産リーフを導入。排気ガス「ゼロ」で二酸化炭素排出削減に役立てます。走行距離44,000km)



9. その他

令和3年4月22日より寺村裕司労働安全コンサルタント事務所の寺村所長にご同行をお願いし、沼田土建株式会社の職員と協力会社との合同の安全パトロールを毎月1回以上実施しています。その結果をグループウェアに掲載し、全役職員と情報を共有し労働災害防止に努めています。

安全パトロール結果（実施日：令和6年7月29日）

（現場1）東北自動車道 佐野SA（上り線）商業施設新築工事

（総評）4Sが良好な現場です。資材置場等が明確に整備されています。
今後とも4S徹底に努め、災害ゼロを継続して下さい。

（現場2）令和5年度 上の平浄水場系統ポンプ場及び配水池設置工事

（総評）4Sが良好な現場です。安全通路、立入禁止エリアなど明確に区分けされています。
今後とも、4S徹底に努め、災害ゼロを継続して下さい。

（現場3）R5国道17号名胡桃橋外橋梁補修工事

【名胡桃橋】

改善検討点	発生するかもしれない事故	適用される法条分
足場端部からの資材の受け渡し時の安全帯の使用	墜落	労働安全衛生規則第564条第4号のロ

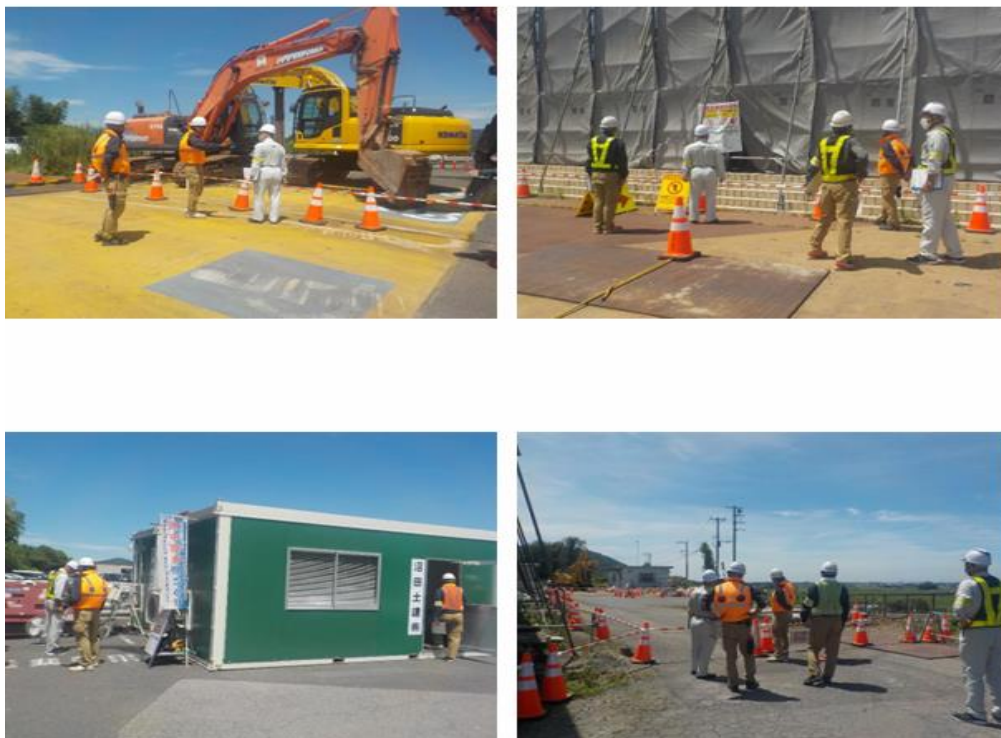
（総評）4Sが良好な現場です。なお、足場組立て作業中でのハーネスの使用の徹底をお願いします。
今後とも、4S徹底に努め、災害ゼロを継続して下さい。

【三丁橋】

改善検討点	発生するかもしれない事故	適用される法条分
橋脚等の足場作業床開口部での安全帯の使用と表示	墜落	該当無し

第三者（労働安全コンサルタント）による 安全パトロール実施記録 令和6年7月29日

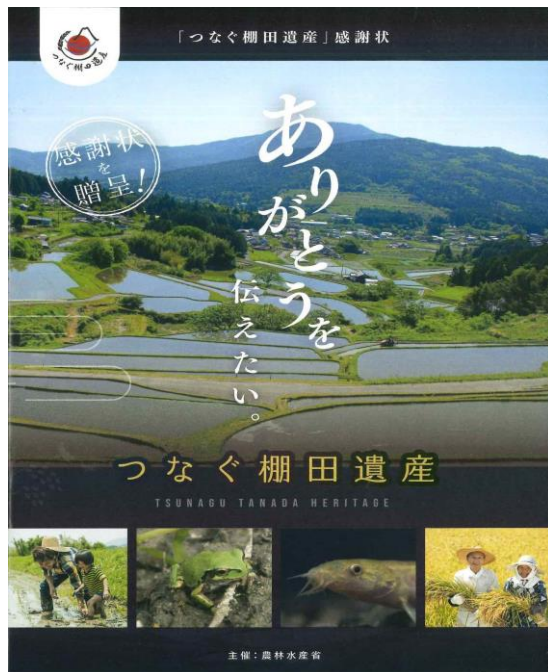
【 東北自動車道 佐野SA（上り線）商業施設新築工事 】



9. その他

令和5年は地域活性化の一環として「薄根地域ふるさと創生推進協議会」のご協力を得て、「石墨棚田」において役職員及びその家族で田植え・稲刈り体験を実施しました。自然と向かい合いながら出来上がったものを喜び合うことは、どこか建設業の原点に通じるものがありました。自然に触れ合い、秋に向かって楽しいひとときが過ごせました。

また、令和6年1月には農林水産省の「つなぐ棚田遺産」委員会から感謝状を頂戴し、2月には群馬県知事に表敬訪問をいたしました。今後継続の予定です。



つなぐ棚田遺産 感謝状とは

「つなぐ棚田遺産」とは、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な価値に対する、より一層の理解の促進を図ることを目的として、令和4年3月に271の棚田を農林水産大臣が「つなぐ棚田遺産」に認定。

感謝状の趣旨

棚田地域における多様な主体との連携や協力を促進することを目的として、棚田地域の振興等に貢献する企業・団体等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業・団体等に感謝状をお贈りします。

令和5年度 第2回 「つなぐ棚田遺産」 感謝状贈呈企業・団体等一覧

●…未来へつなぐ部門 ●…人と人をつなぐ部門 ●…クリエイティブ部門

※特別感謝状受賞団体

順位	企業・団体名	所在地
1	山形県天童市 株式会社 モンテディオ山形	山形県天童市
2	群馬県沼田市 沼田土建 株式会社	群馬県沼田市
3	静岡県静岡市 株式会社 ウェブサクセス	静岡県静岡市
4	静岡県静岡市 学校法人 常葉大学	静岡県静岡市
5	長野県上田市 岡崎酒造 株式会社	長野県上田市
6	長野県飯山市 飯山市立東小学校	長野県飯山市
7	新潟県長岡市 公立大学法人 長岡造形大学	新潟県長岡市
8	東京都日野市 実践女子大学	東京都日野市
9	石川県鳳羽郡能登町 NPO法人 当目	石川県鳳羽郡能登町
10	富山県氷見市 氷見伏木信用金庫	富山県氷見市
11	愛知県新城市 横浜ゴム株式会社 新城工場	愛知県新城市
12	岐阜県岐阜市 岐阜県信用農業協同組合連合会	岐阜県岐阜市
13	滋賀県草津市 立命館大学 経済学部	滋賀県草津市
14	鳥取県大子町 若林酒造 有限会社	鳥取県大子町
15	山口県山口市 山口大学 トムソーヤーズ	山口県山口市
16	群馬県群馬市 学校法人 四国大学	群馬県群馬市
17	香川県香川郡高松市 公益財団法人 福武財団	香川県香川郡高松市
18	高知県高知郡本山町 一般財団法人 本山町農産公社	高知県高知郡本山町
19	福岡県京都市 株式会社 トヨタ自動車九州 株式会社	福岡県京都市
20	長崎県長崎市 大和リース株式会社 長崎支店	長崎県長崎市
21	熊本県上益城郡山鹿町 株式会社 まちづくりやべ	熊本県上益城郡山鹿町
22	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町 特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校	宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町
23	東京都江東区 株式会社 ビートル	東京都江東区

